



クリストフ・バロン



HORS CATEGORIE



オー・カテゴリー・ヴィンヤード

オー カテゴリー

シラー オー カテゴリー ヴィンヤード 2021



Hors Catégorie とは

フランス語で“分類を超える”という意味をもち、この土地が世界でも類を見ない場所であることから名付けられました。2003年、クリストフは、フランスの北ローヌ地方のレジェンドAVAであるエルミタージュを彷彿とさせるような急峻な丘陵地を見つけました。現在この丘陵地にある畑はオー・カテゴリーとして知られており、シラーが植えられ、ワラワラ・ヴァレーで最も人気のあるワインのひとつとなっています。

比類なきワイン：ヴィニユロン、クリストフ・バロン

ブルー・マウンテンズの麓、ワラワラ川の北側支川と南側支川が合流する場所に位置するオー・カテゴリー・ヴィンヤードのシラーの樹は、急峻な丘の斜面にしがみついています。ゴツゴツした崖の下、岩場に囲まれ、ブドウの根は割れた玄武岩の中に栄養を求めて奮闘しているのです。

ここは、アメリカでも他に類を見ない希少なテロワールであり、気候、日当たり、地形が比類のないワイン生産地を作り出しています。2015年にこの地を訪れ、最初のワインを樽から直接試飲したワイン・スペクテーターのハービー・スタイマンは、「この表現力、力強さ、無重力の組み合わせは、アメリカのシラーでは珍しい」と語っています。“オー・カテゴリーは宝石のようだ。”

テロワールと地形の出会い：稀有なテロワールと比類なき環境

ワラワラ川の北側と南側の分岐点に位置するオー・カテゴリーのシラーは、玄武岩の痩せた土壌で育ち、ブドウの間隔は約1m。0.4haあたり3,555本の密植です。

この未開の土壌の、勾配は最大で60度にもなり、耕作は手で行うか、機械をウィンチで巻き込んで行うしかありません。この畑は、クリストフ・バロンのすべてのブドウ畑と同様、バイオダイナミックに基づいて耕作されており、45m下の牧草地では、牛、ヤギ、羊、蜂の巣、その他の野生動物が自然の生態系を完成させています。

アメリカの宝石

オー・カテゴリー・ヴィンヤードのワインは、クリストフがこれまで作ってきたものとは異なります。“最初のヴィンテージである2014年のシラーを試飲したワイン・アドヴォケート誌のジェブ・ダンナック氏は、“想像しがたい努力をしたチームにブラボー”、“この深みのあるルビー色の樽からのサンプルは、スモーキー、若く、椎茸、血を感じる肉を主体としたアロマとフレーバーの中に、男性的で、厳格ささえ感じさせるキャラクターを生み出している。”と述べています。

畑

この畑は、ワラワラ川の北分岐点沿いに初めて植えられました。具体的には、北分岐点とワラワラ川の合流点に位置しています。ブドウの木は、最大傾斜60度の玄武岩が割れた、栄養の乏しい土壌で育ち、ブドウの栽培作業は、主に手作業で行われるか、畝間を機械で牽引して行われます。

栽培

畑は2011年からバイオダイナミック農法で耕作されています。また、畑の46m下には牧草地が広がっており、ここでは牛、ヤギ、羊、蜂の巣、その他の野生動物が自然の生態系を形成しています。

植樹 : 2011年

畑 : 0.8 ha (2.0 ac)

畝の間隔 : 約 1 m x 1 m

樹間隔 : 8,780本 /ha (3,555本/ac)

標高 : 415 - 451m

生産量 : 313ケース

発酵槽 : 100%フレンチ・オーク

熟成 : 18か月 ニュートラルなオーク樽

リリース日 : 2025年2月17日

AVA・産地 : ワラワラ・ヴァレー

品種 : シラー100%

アルコール : 13.8% JANコード : なし

希望小売価格 : ¥60,500 (税込 ¥66,550)

Wine Advocate

2014 99点 (ファーストリリース)

2015 100点

2016 99点

2017 98点

2018 97点

2019 100点

2020 95点

2021 96点

Owen Bargreen

2020 100点

2021 100点

Wine Enthusiast

2021 98点

ORCA
INTERNATIONAL

輸入発売元

オルカ・インターナショナル株式会社 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-2-19 9F
TEL 03-3803-1635 FAX 03-3803-1637 www.orca-international.com



YouTubeは
こちらから